

## 平成29年度第6回霞ヶ浦自然観察会結果報告

### 「クルーザーに乗って霞ヶ浦の風を体感しよう！！&投網体験教室」

を実施しました。

開催日時：平成29年8月19日（土）午前9時30分から午後3時50分まで

開催場所：行方市麻生 天王崎公園および天王崎観光交流センター

参加者：36名

今回の自然観察会は、一昨年度もお世話になった麻生ヨットクラブの岡里様をはじめクラブの方々の御協力のもと、クルーザーに乗船して参加者のみなさんに霞ヶ浦の風と美しい風景を体感してもらうことを目的に実施しました。

来年10月に茨城県で行われる第17回世界湖沼会議は「人と湖沼の共生ー持続可能な生態系サービスを目指してー」がテーマです。生態系サービスのなかに文化的サービスがあります。今回の観察会では、霞ヶ浦の文化的サービスを実感することができました。

さて、当日の朝は今にも雨が降ってきそうな曇り空。観察会を開催できるか心配しましたが、参加者のみなさまの日ごろの行いが良いためか、無事に実施することができました。

現地に11時に到着、昼食休憩をはさんで、12時から観察会をスタートしました。今回はクルーザー乗船と投網体験の2本立てのため、参加者を2つのグループに分け、交互にクルーザー乗船と投網体験を行いました。

乗船時間は各グループ約40分と、かなり長い時間乗船させていただきましたが、心地よい風と美しい風景にあつという間に時間が過ぎていきました。また乗船中に操船方法や船舶用語なども教えていただき、楽しく学ぶことができました。

一方、砂浜では投網教室が行われ、みなさん熱心に投網の練習を行いました。だんだんコツをつかむと、次第に投網が広がるようになり、自分の打った投網で魚が採れた参加者からは歓声が上がりました。当日はワカサギやボラ、ヌマチチブ（ゴロ）、テナガエビ、モツゴなどが観察できました。ワカサギやゴロ、テナガエビなどは霞ヶ浦がもたらす食の恵みでもあることから、わたしたちが霞ヶ浦から、生態系サービスのひとつである供給サービスも大いに享受していることも学ぶことができました。

最後に天王崎観光交流センター会議室で岡里様から霞ヶ浦とヨットの魅力についてお話していただきました。霞ヶ浦の地図を開いて、クルーザーで移動した範囲を教えてくださいましたが、参加者のみなさんはかなり遠くまで行って来たと思っていたようです。しかし実際は霞ヶ浦のほんの一部だったことを知り、霞ヶ浦の大きさを改めて実感したようでした。また最近では競技としてはヨットではなくセーリングと呼ぶこと、クルーザーとはキャビンがあり、宿泊が可能で航海のできる船を指すことなども教えていただきました。ちなみに今日乗せていただいたクルーザーでも銚子まで行くには一日掛かりだそうです。

今回は麻生ヨットクラブのみなさまの御協力により、充実した観察会を行うことができました。また当日参加されたみなさん、パートナーのみなさん、ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察会の様子の一部を御紹介します。



まもなく出航です。



砂浜では投網の練習です。



沖に出ると帆を広げ、風を受けて走ります。



投網にボラが入りました。



岡里様からお話を伺いました。



大人も子どもも夢中です。